

# 狭山市国際交流協会

SAYAMA INTERNATIONAL FRIENDSHIP ASSOCIATION

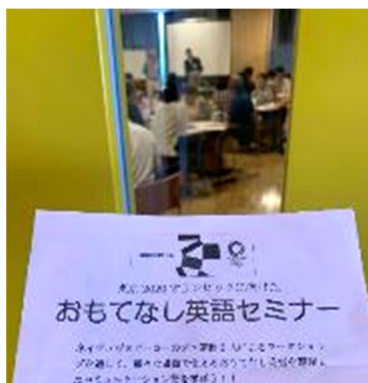


## ニュースレター

246号  
2019/11

### おもてなし英語セミナー開催！！

2019年9月29日（日）2020年東京オリンピックに向けたおもてなし英語セミナーが開催されました。



SIFA 会員による事前の懸命な宣伝活動の甲斐もあり、セミナー開始時刻には狭山市中央公民館第1ホールに60名余りが集まり満員御礼となりました。

セミナーはフランキー先生とアンドリュー先生のアイデアで、参加者をグループ分けしてディスカッションをしながら進行していくというユニークな形式を取って行いました。最初に参加者は世界8ヶ国の国旗のカードを引きます。そして引いたカードと同じ国旗のあるテーブルに着席していく方法で8つのグループ

に分かれました。ひとつのグループに7、8名が配置され、グループごとに自己紹介をしました。2人の先生は各グループを回り、戸惑っている参加者を後押ししたり励ましたりしながら、次のセッションへ。先生方の完璧な事前準備もあって、最初は少し戸惑い気味だった参加者たちもだんだん積極的に発言するようになりました。

セミナーの第一部(part 1)は、「A quiz on Sayama 狭山クイズ」です。先生から”How many stations are there in Sayama?狭山には駅がいくつある?” “Is ORIPI male or female?オリピーは男性?女性?” “What was the original name of Iruma Air Base? 入間基地の元の名前は?” など、ユーモア溢れる英語でのクイズが出題され、それらの答えを各グループで話し合っ



フランキー先生（左）とアンドリュー先生（右）



第二部 (part2) は「Envelope Game 封筒ゲーム」。これは各テーブルにたくさんのしおりの入った封筒が配られ、グループで一人ずつしおりを引いて、そのしおりに記されている「Topics トピックス」についてグループディスカッションをするというものでした。先生2人とスタッフ数人が各グループを回りアドバイスをしながら進行し、最後は先生2人から回答のお手本や英語の的確な表現法などについてもわかりやすく解説してもらいました。

第三部 (part3) はロールプレイ。先生方と各テーブルの代表者が与えられたテーマで会話をします。これまでの2つのセッションで、すっかり打ち解けた各グループからは、代表者になろうと積極的に手が上がり、皆の前で堂々と、時折笑いも交えての即興の会話 (寸劇!) が繰り広げられました。

今回のセミナーは、先生方のユーモアのある進行で笑い学びの詰まったあっという間の3時間でした。今回、SIFA では初の試みとして、参加者の皆様から受講料をいただいて開催させていただきました。参加された皆様には英文の「狭山市駅周辺英語ガイド」という手作りの小冊子が配られ、有意義かつ実践的なセミナーになりました。      ワージントン市交流部会  部会長  粕谷充史 (会長兼務) 記



## ■ 韓国文化を知る～韓国と日本の家族観～ 開催 ■

「インセンウンミワンソン～人生は未完成～」

帰り道もこの美しい音色が脳裏をよぎりました

10月20日(日)「韓国文化を知る～韓国と日本の家族観～」と題して講演会が開かれました。会場は中央公民館の第5学習室で、準備していた席数よりも多い42名が集まり、先生の話に聞き入りました。

講師は橋田幸恵先生。日本人と結婚し帰化されました。韓国名は白修幸ペクスヘンさん。韓国語講師という肩書きもあり、日本の大学を卒業し日本語教員免許を取得、現在では祇園にあるレストラン「コチュ」の店長を務めていらっしゃいます。講演会の最後に、歌謡曲「インセンウンミワンソン～人生は未完成～」を韓国語で合唱しました。

来日後、結婚出産と同時期に大学で学び、教員免許を取得したとのことですが、免許の取得にあたっては、通常よりも2年も長く時間を要したとのことですが、何よりもそれを成し遂げたことに驚かされます。

そして、家庭に入ってからの方に話題は移ります。結婚した家庭は大所帯で、日本には10合炊きの炊飯器しかないと錯覚したほどでした。



大所帯の中で過ごした後、子育てのために、現在は夫とは離れ、子どもたちの学校が近い狭山近辺に暮らしていらっしゃいます。韓国では子供の教育環境を優先して、母親と子供が父親と離れて過ごすことは珍しいことではありません。

日本語を駆使していても、夫の実家での生活や子どもの学校との関係の中で、文化の差を感じることは多くあったようです。しかし、韓国と日本の共通点、相違点の微妙な違いを意識しながら柔軟に対応されてきたそうです。



橋田先生



韓国人と日本人の大きな違いは、意見が違う場合の解決の仕方に見えるそうです。日本人は意見の食い違いは言わないで解決しようとするのに対し、韓国人は相手と意見が食い違ったら、更に意見を言い合うことによって解決すると話されました。意見の相違を深く知ることで、気まずくなるのは事実ですが、親密さは深まり、将来への可能性が広がるとのことでした。

結婚は同じ文化や同じ習慣の人とした方が良いと国際結婚の辛さを吐露されてはいましたが、ご自身は結婚を満喫されているように来場者の目には映ったと思います。

また、コチュの店長としての一面も見せてくれました。いろいろな料理を作って、お客様に食べてもらいたいという気持ちと、経営の難しさの葛藤も聞かせてくれました。

最後に、講演会はみんなの歌声で締めくくられました。

統営市交流部会 加藤秀弥 記



## 今後のSIFAイベントのご案内



イベント名	日時	会場	備考
<b>SIFA 国際交流の集い</b>	12月1日(日) 11時～14時	新狭山公民館	詳細は、同封のチラシをご覧ください(*要申込み)
にほんご発表会	2020年 2月2日(日) 13時～16時	中央公民館 第1ホール	< 観覧無料 > 日本語教室で学ぶ外国の方々の日頃の学びの成果をお聞きください
中国料理教室	2020年2月	詳細が決まり次第、SIFA ホームページ、 チラシなどでご案内いたします	



## 中国を知る会「漢方で健康な体作り講座」



11月3日(日)文化の日、本年度第1回「中国を知る会」  
「漢方で健康な体作り講座」が産業労働センターにおいて  
開催されました。講座は23名の来場者を迎えて定刻10  
時に始まりました。

講師の三矢京子(ケイコ)先生は日本では数少ない中国  
漢方の専門家(中醫師と言います)で、市内狭山台で長年に  
亘り「薬真堂薬局」を経営していらっしゃいます。



三矢 京子氏(薬真堂薬局店主)

先生は冒頭で「漢方には、古来5~6世紀に日本に伝来し、  
江戸時代に研究が進んだ日本漢方と、現在も中医で処方される方剤(ほうざい)の二種類  
があり、先生は「方剤」を扱っていらっしゃるのだということでした。そして国際中医A  
級専門員という国家資格も取得されています。

中医学では健康と病気の違いを「陰と陽のバランス」と考えること、健康は「正気(せい  
いき)の充実」、病気(疾病)は「正気の虚弱」と捉えるそうです。

西洋医学では、病気を体の一部分の不具合として、その部分を治療するだけですが、中  
医学では身体全体の「血の流れ」「水液の流れ」「腎(先天の精=命の源)の状態」など  
によって身体の悪いところを探し出し、その状態を治す効果のある薬(方剤)を処方する  
とのこと。歳を取るに従って、以上の3つの流れと機能が衰えることで身体のあちこちに  
不具合が生じるのだということです。

次に、「風邪(ふうじゃ)は万病の素」(中医学による風邪の予防と治し方)~風邪は  
ひきはじめが肝心。~予防には「正気」を高めておくことが必要であるそうです。

<風邪の3つのタイプと処方する方剤(薬)について>

- ①風寒型...寒い風邪:寒気、鼻水、節々の痛み⇒麻黄湯、葛根湯、桂枝湯
- ②風熱型...暑い風邪:のどの痛み、口が乾く、熱っぽい、発熱 ⇒銀ウ散、天津感冒片
- ③風湿型...下痢や吐き気のある風邪:身体がだるい、重い ⇒勝湿顆粒

\*風邪の予防には、「マスク・うがい・手洗  
い+板藍根」がよい。

以上、大変詳しく中医学上の「健康と病気」  
の関係、歳を取ることを意味、そしてこれから冬に向けて「風邪」についての説明や対策  
を教えてください、アツという間の90分でした。



三矢京子先生、どうもありがとうございました。

杭州市交流部会 草野喜実勝 記

### ★問合せ・申込み:狭山市国際交流協会・事務局

(狭山市役所 2F 市民文化課内)

〒350-1380 埼玉県狭山市入間川 1-23-5

• Tel / Fax : 04-2952-4584

(月・火・木・金 9:00~16:00、水・土・日・祝日は休み)

• E-mail : [sifa2@nifty.com](mailto:sifa2@nifty.com)

• ホームページ : <http://sifa.information.jp/>

又は、[狭山市国際交流協会](#) ←検索 クリック

### 編集後記

ラグビーのワールドカップも日本代表の善戦によって盛り上がりました。日々の寒さが増すとともに、オリンピックイヤー2020年も近づいてきました。

今年度のSIFAイベントはまだまだ続きます。皆様奮ってご参加お待ちしております。

広報部会 加藤秀弥